

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

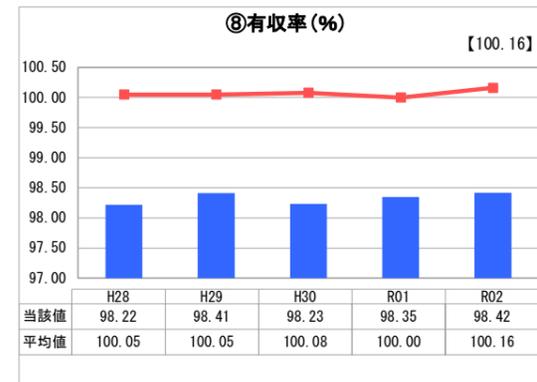
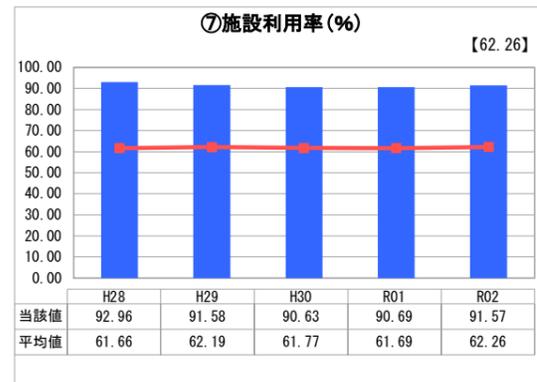
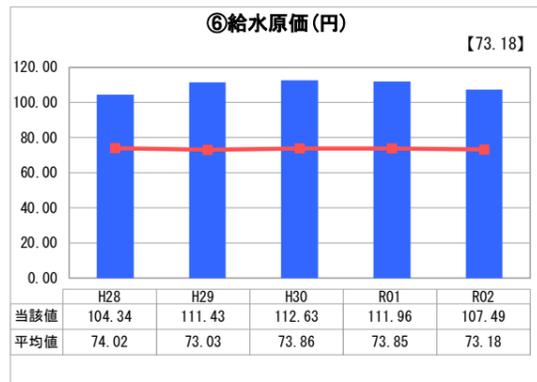
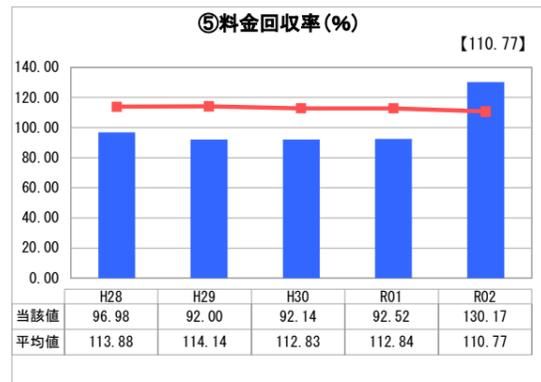
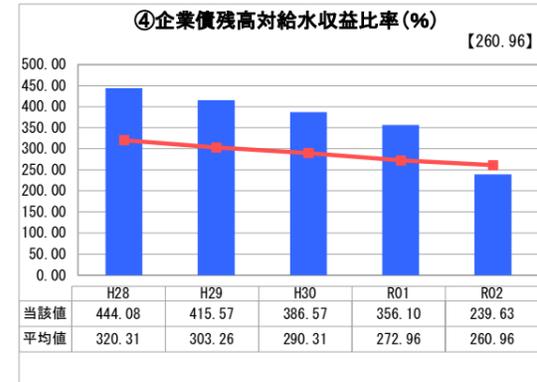
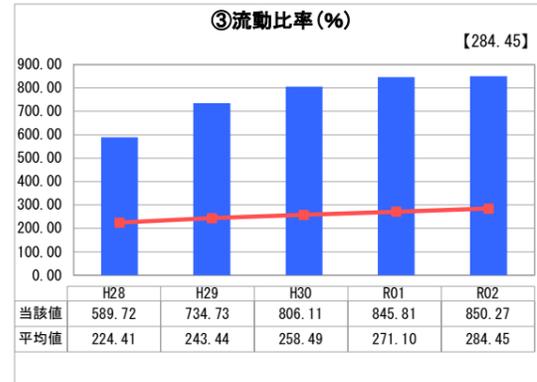
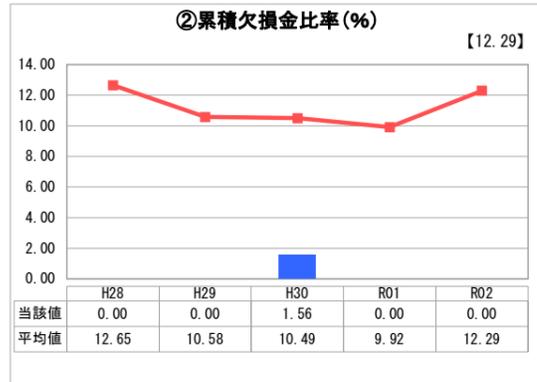
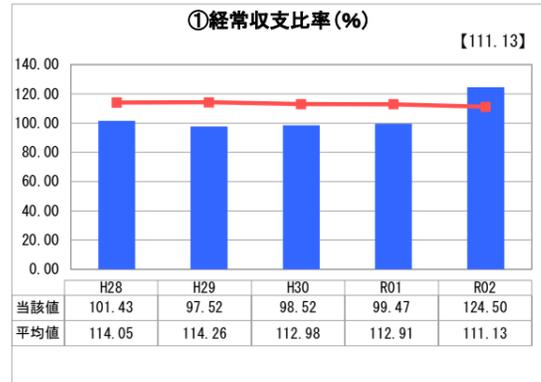
熊本県 上天草・宇城水道企業団

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用       | 水道事業        | 用水供給事業 | B                              | 自治体職員  |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 86.68       | 34.78  | 0                              |        |

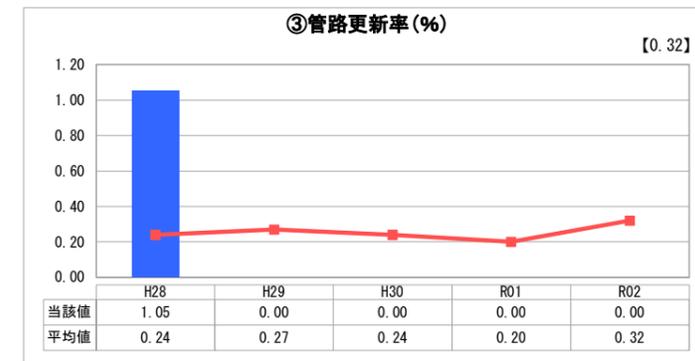
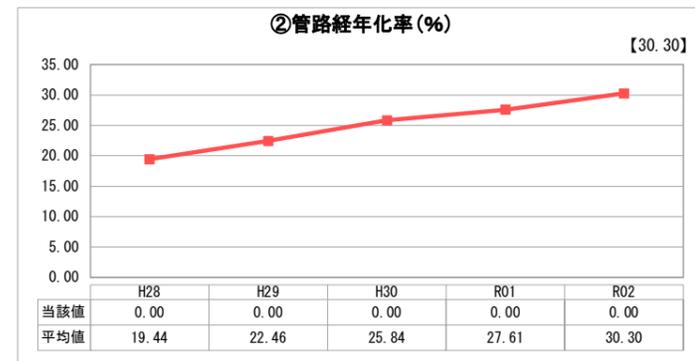
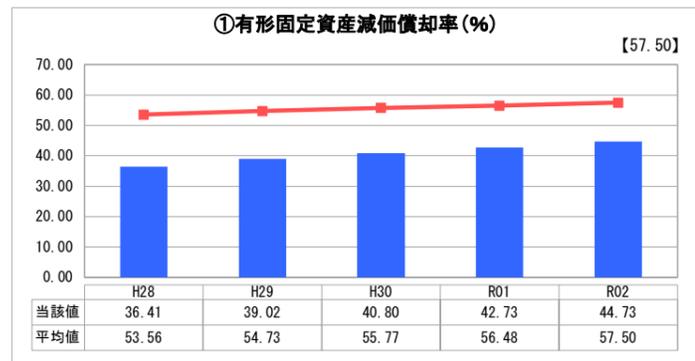
| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| -         | -                        | -                          |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 68,958    | 285.92                   | 241.18                     |

| グラフ凡例 |              |  |
|-------|--------------|--|
| ■     | 当該団体値(当該値)   |  |
| —     | 類似団体平均値(平均値) |  |
| 【     | 令和2年度全国平均    |  |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度の経営状況は、料金改定を行ったことで、全体的に改善傾向にある。

① 経常収支比率  
料金改定を実施したことで124.5%となり、平成29年度から続いていた赤字は解消された。

② 累積欠損金比率  
0%が続き、改善傾向が続いている。

③ 流動比率  
850%超となり、突発的な支払いにも対応できる状況にある。

④ 企業債残高対給水収益比率  
改善傾向が続いている。

⑤ 料金回収率  
料金改定により、これまで続いていた赤字を解消することができた。

⑥ 給水原価  
料金改定により、原価割れ状態を解消できた。なお、類似団体平均を上回っているが、事業環境が異なるため、単純比較はできない。

⑦ 施設利用率  
責任水量制で給水しているため、平均を大きく上回って稼働している。

⑧ 有収率  
平均値は下回るものの、ほぼ100%に近い数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

当企業団は平成16年に供用開始のため、建物・管路に関して、耐用年数を超えるものはないが、機械・電気設備の一部は更新期を迎え、計画的に対応を行っている。

① 有形固定資産減価償却率  
平均を下回っているものの、機械・電気設備が更新時期を迎えつつあるため、計画的に更新を行っている。

② 管路経年化率及び③ 管路更新率  
平成16年供用開始のため、管路で法定耐用年数を超えるものはないが、今後の更新に向けて必要な費用を計画的に準備しておく必要がある。

### 全体総括

令和2年度は料金改定を行ったことにより、黒字となった。今後の管路や機械・電気設備の更新に向けて、更なる利益の積み上げが必要となる。安心安全な水を継続して供給するため、令和4年度に「経営戦略」の見直しを行い、計画的な更新を行っていく。